

2002.7.15

# 民主

定価 200 円 (消費税込み)

年間誌誌  
3000 円 (送料込み)

民主党広報委員会  
東京都千代田区永田町 1-11-1  
電話 03-3595-9988 (代表)  
民主党愛知県総支部連合会  
名古屋市東区泉 1-12-34  
セントラルアベニュー 1223 9F  
電話 052-951-7881



## 民主党のいまがわかる月刊紙

[部落解放をめざす愛知研修会](#) / [まちづくり—まつり、空港、教育](#) / [政権前夜～民主党の戦略と政策](#)  
[～](#) / [地域の元気は日本の元気「地域活性化フォーラム」](#) / [幹事会報告](#) / [いんふおめーしょん](#) / [編集後記](#)

### 部落解放をめざす愛知研修会

「みんなで考える人権」～第26期部落解放講座～

今年で26回目を迎えた「部落解放講座」が7月9日(火)10:00～愛知県勤労会館で開催された。主催は部落解放愛知県共闘会議(議長＝神代民雄)、後援に連合愛知。

毎年、愛知県内の主だった企業や行政関係者、労働組合などから参加があり、今年は会場からあふれるほどの1,500名を越える参加者が集まった。

今年のテーマは「みんなで考える人権」と題して講師に赤井隆史さん(ニューメディア人権機構)を招き、会場参加型の基調講演を行った。パソコン用のCD-ROMを使って、就職での面接や街中での買い物、スポーツクラブへの入会、結婚相談所などの場面を再現し、設問に○×方式で答えていくもの。それぞれ10問程度の設問のあと、人権感覚が判定される仕組みとなっている。会場からは「あっと驚く」回答や、「なるほど」といった答えから、各自の人権感覚・意識を再認識出来たと好評だった。当日参加者一人ひとりに配られる資料の中に、同じCD-ROMが配布され、ある企業からの参加者は「3年連続で参加させていただいたが、今年の内容は仕事や地域生活で大変参考になったと思う。早速自宅のパソコンで家族を判定してみたい。」と言っていた。



基調講演での赤井氏



第一分科会でのパネラー

午後からの分科会は、今国会で各方面から問題点が指摘されている「人権擁護法案の問題点」と「実効ある規制・救済法の実現に向けて」のパネルディスカッション。司会進行を、解放共闘でお馴染みの山崎公士(新潟大学法学部教授・人権フォーラム21事務局長)さん。パネラーにマスコミ関係者・弁護士・解放同盟のメンバーで行われた。

もう一つの分科会は、昨年の部落解放愛知県共闘会議結成25周年を記念して、今年2月に行った、「反差別国際研修～タイ(バンコク・カンチャナブリ)」の報告会を行った。主な報告内容は、政府の工業化政策により、タイ型バブルが発生し、安価な東北部からの出稼ぎ労働者が首都バンコクに密集した結果、人口密集コミュニティ(いわゆるスラム地区)を形成する社会構造となっている。訪問した2ヶ所のバンコク市内にあるアジア最大のコミュニティの現状や、貧困により親が犯罪に手を染め、行き場の無い子供たちの集団生活を支える「プラティープ財団」の活動や運営する「New Life Project(少女のための生き直しの学校)」への交流など。報告を行った共闘会議のメンバーは、タイといえば心無い日本人男性の少女買春がクローズアップされてしまうが、スラム地区に居住し、ボランティア活動を行っている多くの日本人の姿をもっと知ってほしい。アジアの仲間として、この国の問題解決は日本人も協力しなければならない。今回の研修はいろんな意味で考えさせられた。それぞれの持ち場で、これからの人権運動に活かしていきたい。と訴えた。県共闘会議は今後も、プラティープ財団と定期的に交流を持つ予定である。



第二分科会でのタイ研修報告

[▲  
top](#)

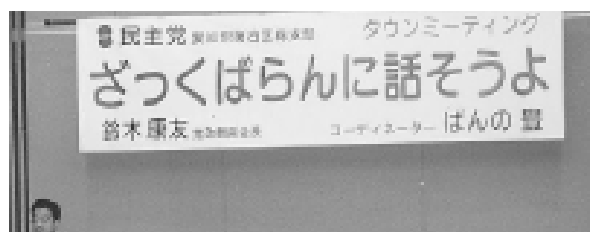
## ざっくばらんに話そうよ

### まちづくり—まつり、空港、教育

(8区政調タウンミーティング・伴野豊(ばんのゆたか)総支部長)

5月26日、まちづくりをテーマとしたタウンミーティングが半田勤労福祉会館において開催された。ここでのコーディネーターは伴野豊・県連政調会長。党本部から鈴木康友・政調副会長、そして中村友美・愛知県議(名古屋市緑区)、近藤良三・前愛知県議(半田市)がパネリストとして参加した。

まちづくりというテーマでも、とりわけ「まつり」の盛んなご当地・半田の特性から、地域に密着したまちづくりの原点がまつりにあること。伴野代議士はまずその点を明らかにするとともに、まつりを観光産業に結びつける、つまり2005年、中部国際空港の開港を控えて、今までであるものを強調して外へアピールする、オリジナリティのアピール、という視点でまつりを位置づけた。そこで、伝統を活かしながら、それを改修、保持していくには、それなりのコストも必要となるが、まちづくり、地域づくりには税金に頼ってばかりではなくて、そこに住む人たちの想いから皆さんが少しずつ負担していき、また口も出す、知恵も出して、みんなでまちづくりに参画していく。その上で、この地域、この街路、この地区、もっというなら



そこに住む人をどんどん積極的に外にアピールしていく、そのきっかけが「まつり」、そう考えられる。また、こどもたちも、地域の行事に入っていくことで、社会のいろんなことを学んでいく。地域で子供を育てる上でも、まつりが機能するとの見方を伴野代議士は示した。

これを受けた鈴木代議士は、その地元・浜松でも、活性化という意味で、まつりが町の中心になっている。経済効果も大きいことを示した。中村県議は、「お祭大好き」と早速の宣言。自らの地元、鳴海で有松絞りの衣装をその場で羽織って、日本ど真ん中まつり、自らも踊り子として地元のチームに参加して各地に出かけていること、まつりをきっかけに北海道から沖縄まで、全国規模で交流できる、と経験を交えて語った。近藤前県議は、地元・半田市の潮干祭での経験を交えつつ、まつりを通じて歴史と伝統を再発見、これがまちづくりにつながっていくとの見方を示した。つづいて、話題は教育へと移行。近藤前県議は学校・家庭・地域のネットワークを構築して、また一人一人の子供たちにきちんとした教育の環境を準備する大人の責任を強調した。中村県議は、学校週5日制の導入で土日は子供が地域にいる、ということから、どうやって地域の大人たちが子供と触れ合う機会をつくっていくか、その重要性と地元での具体的な取り組み(トワイライトスクール等)を示した。鈴木代議士からは、今の日本の子供たちの学力の低下、これが深刻な問題であることを、対米比較の政策的な部分も含めて話された。最後に、伴野代議士が総括。いろんな知恵を出し合う事で、次の世代に自信を持って伝えていく。資源の無い我が国が生き残っていくために、人材を育て、そのみんながいろんな部分で付加価値をのせて世に出していくこと、今回の対話の中でいえば、まちづくり、まつり、観光、空港……。いまを生きる大人の責任として、次の世代に、それぞれの立場で伝えるべきものを伝えていかねばならないことを語った。タウンミーティングは、その場で結論を求めるものではなく、考えるきっかけを参加者と共有する、という点で大きな意味がある。今回のまちづくりをテーマとした企画でも、ざっくばらんな対話の中で、まつりだけでなく、教育や男女共同参画、時事問題、時にはテーマと外れた部分まで活発なトークにより、ライブ感覚でさまざまな事を楽しく考える企画となった。



まつりをつうじてまちづくりを提案する中村県議

報告:伴野豊事務所 志村賢一

[▲  
top](#)

## 政権前夜～民主党の戦略と政策～

(4区政調タウンミーティング・牧義夫(まきよしお)総支部長)

6月8日、名古屋市南文化小劇場において、「民主党政調調査会タウンミーティング」が開催されました。市民の皆様の政治参加や政策提言、意見発表の場として設けられたこの企画に200名を越える支援者が参加した。まず、主催者である民主党愛知県第4区総支部代表の牧義夫衆議院議員から、「一度野に下った自民党にとって、

民主党政調調査会 タウンミーティング

政権を維持することだけが目的になってしまった。バブル以降の『失われた十年』が、そのまま十二年になり、いまだ出口が見えない。国債の格付けが下がり、毎年三万人もの自殺者を出している。このような状況を民主党だったらどうするのかを聞いていただきたい。」との挨拶。続いて、民主党の政策調査会長を務める岡田克也衆議院議員の基調講演があり、「昨年、小泉総理大臣が誕生したとき、多くの国民が期待をよせた。就任演説では、思わず拍手をしたほど。しかし期待は裏切られている。小泉さんはいろいろ言っているが、結局自民党のもとで改革はできないことがはっきりした。自民党が良くないのはわかるが、民主党も頼りないとの声がある。五十年間も自民党政治が続くうちに、自民党でなくては国政の運営ができないと思込まされている。霞ヶ関の官僚は、自民党より民主党の議員の方がはるかに勉強していると言っている。議員立法も民主党案を土台にしたものが多い。民主党に政権担当能力があることを示すためには、一度政権を与えていただかないといけない。民主党に欠けているのは、本気で政権を奪ってこの国の政治を変えよとの気迫。もう一度結党の精神に立ち返る必要がある。」といったことを、現在の国会で議論の解説を交えながら力



熱弁する岡田克也氏

説した。この講演を受けて、会場の参加者からの意見や質問があり、活発に意見が交わされ、時間切れで質問できない人も出たほど。閉会后、参加者の意見を聞いてみると、「わかりにくい政治の現状をわかりやすく説明してくれた。政治が身近になった」と大好評だった。

報告：牧義夫事務所 古谷千秋



## 地域の元気は日本の元気「地域活性化フォーラム」

(2区政調タウンミーティング・古川元久(ふるかわもとひさ)総支部長)

2区総支部が6月15日(土)守山区役所講堂にて、「地域の元気は日本の元気」と題し、地域活性化フォーラムを、総勢82名の支援者の参加のもと開催された。



会場からも多くの質問が

使える景品が当たるシステムを構築するなど、非常に参考になる具体例を挙げながら、分かりやすく説明。

その後、地元守山区選出の野田守之市議、吉田伸五市議、千種区選



出の梅村邦子市議が地域活性化のあり方について、木下講師の講演を参考にしながら、参加者と共に活発な意見交換を行い、参加者からも多くの質問が出て大変盛り上がった。

報告:古川元久事務所 近澤昌行

[▲  
top](#)

## 幹事会報告 (6/15第8回幹事会抜粋)

- 党代表選挙地方選挙管理委員会の設置について
  - …中央選挙管理委員会は各都道府県連に3名の選挙管理委員会および1名の事務責任者の選任を6月30日までに決定するよう通達。
  - 委員長＝波形昌洋幹事長
  - 委員＝松山登副代表、早川良行副幹事長、事務局＝中村事務局長
- 2002年度「地方自治体議員フォーラム」総会・全国研修会
  - …7月26日(金)～27日(土)京都市内で開催予定。愛知県連からは、県議会2名、名古屋市議会2名、他の市町議会4名の計8名で参加予定。
- 民主的な公務員制度改革を求める請願署名(6月20日～7月20日)
  - …連合が全国的に取り組んでいる1000万人請願署名活動に対し、党県連も積極的に協力する。連合愛知では11万人の署名を目標。
- 次期統一地方選挙の追加公認・推薦について
  - (1)公認候補者＝県議会、「金澤利夫」春日井市(定数4)、「片桐清高」豊田市・東加茂郡(定数4)、「浜崎利生」岡崎市(定数5)、「住田宗男」刈谷市(定数2)。
  - (2)推薦候補者＝県議会、「渡辺ひでと」西春日井郡(定数2)、「西川厚志」名古屋市中川区(定数3)。
- 首長選挙の推薦について
  - …6月25日告示、6月30日投票の御津町長選挙、「深谷泰範」氏・現2期を推薦。無投票当選。
- 党本部党員・サポーター一定時登録について
  - …5月末の党本部定時登録者＝党員2,715名、地方議員85名、サポーター1,102名。
- 自治体議員フォーラム(仮称)結成準備会
  - …第1回準備会を6月21日(金)17:00～名古屋通信会館で開催。準備委員として県連組織局長、各小選挙区総支部から2名ずつで構成。

[▲  
top](#)

## いんぷおめーしょん

- 6月10日締め切りの、愛知県議会議員候補者公募は10名の公募申込者。第1次審査会を

6月22日に開催。現在、第2次審査会(7月6日)を終了し、最終選考に向けて調整中。

●「政調タウンミーティング」3区総支部

8月24日(土)13:30～名古屋市民会館・第1会議室にて、「民主党の環境政策について」と題し、小宮山洋子(NC環境大臣)さんを講師に、政調タウンミーティングを開催予定。お問い合わせは、3区総支部(近藤昭一 事務所)Tel052-808-1181まで



## 編集後記

サッカーのワールドカップで世界中がひとつになり自国の試合に熱中し、日本でも日本のチームの試合に一喜一憂しながら大変な盛り上がりで終了しました。このフィーバーぶりには驚かされると思いますが、日本のチームの頑張りに日本人誰もが、勇気を与えられ元気になったのではないのでしょうか！！それにひきかえ、日本の政治は相変わらず国民とかけ離れたところで泥試合を続けています。この現状に誰もが呆れはてています。今こそ地方から政治の流れを変える感じを作らねばなりません。これからは地方のことは地方で考え行動する地方が主体の時代です。そのために地方議員が将来への具体的ビジョンを持ち、勇気を持った行動が求められます。

広報委員 富田昭雄(とみたあきお)  
(県議会議員・名東区)

### インターネット・アドレス

<http://www3.ocn.ne.jp/~minshu7/>  
e-mail:minshu@dream.ocn.ne.jp



